

## 逆比

Aの3倍とBの $\frac{1}{2}$ 倍とCの $\frac{2}{3}$ 倍が等しいとき、A : B : Cを求めなさい

算数の点数の伸び悩みの原因になりやすい問題です。  
何回も見たことがあるはずなのに、この処理ができない受験生は多いはず…。  
早めに身につけて比の文章題を得点源にしましょう。  
この表現が出てきたらラッキーと思えるぐらいになると良いですね。

## まずはこう解け！

**Step1** 文章を読んで式を立てる！

**Step2** すべてが1になるように計算する！

### 解き方

$$A \times 3 = B \times \frac{1}{2} = C \times \frac{2}{3} \quad (=1)$$

$$A \times 3 = 1 \text{ なので、} A = \frac{1}{3}$$

$$B \times \frac{1}{2} = 1 \text{ なので、} B = 2$$

$$C \times \frac{2}{3} = 1 \text{ なので、} C = \frac{3}{2}$$

$$\text{比を取ると } A : B : C = \frac{1}{3} : 2 : \frac{3}{2}$$

$$\text{通分して} \quad = \frac{2}{6} : \frac{12}{6} : \frac{9}{6}$$

$$= 2 : 12 : 9$$

『= 1』とおくとそれぞれ求めるのは逆数になる。

逆数の比なので、『逆比』と呼ばれる。

$A \times 2 = B \times 3$  のとき、 $A : B = 3 : 2$  になるため、左右が逆になるから『逆比』と認識している受験生が多い！決して間違えではないが3つの比だとうまく解けない。

逆比は逆数の比と覚えておこう。

また、 $A \times \bigcirc = B \times \square = \dots$  のような式を『逆比の式』とすぐ気づけるようになることが大切。

**答え** 2 : 12 : 9